

～認定資器材及び認定工場制度について理解を深める～

第28回下水道用管路資器材研修会

認定工場制度を適用している下水道用資器材について、製造者団体等により、各資器材の特徴、製造方法並びに効率的な施工方法などについて実務的な説明を行います。

実際の資器材を用いて機能や性能を紹介するデモンストレーションを含む具体的で分かりやすい説明を行うとともに、資器材に関する製造者団体との個別相談の場も設けています。

また、継続学習制度（CPDS）プログラムの認定を受けた研修のため、CPDS単位を取得することができます。

講習内容

1. 認定工場制度の概要（DVD放映）
2. 各製造者団体等による認定適用資器材の説明
3. 各製造者団体等による認定適用資器材の実物等を用いた各種デモンストレーションの実施
4. 資器材個別相談

教材

製造者団体等の資器材パンフレット等



講習会スケジュール

期 間	開催都市	募集予定人数	期 間	開催都市	募集予定人数
8月29日（木）	新潟市	100名	8月30日（金）	横浜市	70名
9月 2日（月）	神戸市	100名	9月 3日（火）	大阪市	140名
9月18日（水）	札幌市	90名	9月20日（金）	仙台市	100名
10月 3日（木）	福岡市	80名	10月 4日（金）	熊本市	80名
10月17日（木）	名古屋市	100名	10月18日（金）	大津市	80名
11月 5日（火）	岡山市	80名	11月 6日（水）	広島市	80名

参加費無料

参加対象

正会員（地方公共団体、公社）、準会員（地方公共団体）、賛助会員（設計・施工・維持管理）の下水道関係者

担当課

技術部規格検査課
03-6206-0799
<http://nintei.ngsk.or.jp/>

下水道事業をサポートする認定工場制度！

認定工場
制度とは

地方公共団体や工事請負者が安心して下水道用資器材を使用できるように、日本下水道協会が全国統一的に資器材の検査を行う制度です。全国7ヶ所の地区事務所に配置された検査員が、経験を生かした厳正な検査を行っています。

下水道事業者の方へ

- 下水道用資器材の最新情報をどのように入手していますか？
- 検査業務に時間を要していませんか？
- 資器材選定や品質の確認はどのようにしていますか？



資器材製造者の方へ

- 製品は効率的に製造できていますか？
- 受注のたびに検査を受けていませんか？
- 検査内容は下水道事業者によって違っていませんか？

認定工場制度がお役に立ちます！

- 下水道協会規格等により、製品の形状・寸法・材質・性能等の均一化を図り、統一的な検査で、安定した品質の製品の入手が可能
- 発注先工場での個別検査の省略
- 資器材検査ニュース及びホームページによる下水道用資器材や製造工場の最新情報の入手



- 下水道事業者が認定資器材を選定することによる製品製造の効率化
- 自工場の自主検査が公的に認められ、下水道事業者の個別検査が不要に
- 検査内容の統一化

認定工場制度の3つの柱

下水道用資器材
の指定・登録

製造工場の
認定

工場調査の
実施

認定資器材の 指定・登録

公的規格に基づく資器材はⅠ類に指定され、製造者規格に基づく資器材はⅡ類に登録されます。

基本調査

工場を認定する際は、品質管理体制が充分整っているか、事前に調査を行います。認定工場となった後も、定期的に品質管理体制のチェックを行います。

製品検査

認定工場において、製品の形状、寸法、材質、性能などの検査を定期的に行います。また、工場での自主検査状況の確認を行います。



認定資器材の性能等について、実物を用いて説明する「資器材研修会」がお役に立ちます！



認定工場制度関連の研修について、P.23をご覧ください。是非ご活用下さい。

問合せ先 日本下水道協会 技術部規格検査課 03 (6206) 0799